

井草 高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学ⅠA演習

教科：数学 科目：数学ⅠA演習 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組～ H組

教科担当者：河内

使用教科書：（数研出版 「リンク数学演習Ⅰ・A」）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しよ
【学びに向かう力、人間性等】 うる態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学ⅠA演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数、データの分析、図形の性質及び場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 数と式 【知識及び技能】 式の整理や根号を含む式の計算、1次不等式の計算について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 絶対値のはずし方や対称式の解き方、文章題の立式などにおいて説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 展開・因数分解の公式や二重根号の公式など、学習した公式を問題に活用しようとする。	・指導事項…式の計算、実数、1次不等式 ・教材…プリント、問題集	【知識・技能】 式の整理や根号を含む式の計算、1次不等式の計算について理解している。 【思考・判断・表現】 絶対値のはずし方や対称式の解き方、文章題の立式などにおいて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 展開・因数分解の公式や二重根号の公式など、学習した公式を問題に活用しようとしている。	○	○	○	6
	B 集合と命題 【知識及び技能】 集合の基本的な用語や必要条件・十分条件について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 対偶の真偽を示すことで、もとの命題の真偽を説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 必要条件・十分条件の考え方や逆・裏・対偶の関係性などを、問題解決に活用しようとする。	・指導事項…集合、命題と条件 ・教材…プリント、問題集	【知識・技能】 集合の基本的な用語や必要条件・十分条件について理解している。 【思考・判断・表現】 対偶の真偽を示すことで、もとの命題の真偽を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 必要条件・十分条件の考え方や逆・裏・対偶の関係性などを、問題解決に活用しようとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
	C 2次関数 【知識及び技能】 与えられた条件から、2次関数を決定することができる。また、2次不等式において、グラフを活用して問題を解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 平方完成を用いることで、その関数のグラフの特徴を見いだすことができる。また、最大値・最小値について、グラフを活用しながら説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 2次関数のグラフを用いて、最大値・最小値を求めようとする。	・指導事項…2次関数とグラフ、2次方程式と2次不等式 ・教材…プリント、問題集	【知識・技能】 与えられた条件から、2次関数を決定することができる。また、2次不等式において、グラフを活用して問題を解くことができる。 【思考・判断・表現】 平方完成を用いることで、その関数のグラフの特徴を見いだすことができる。また、最大値・最小値について、グラフを活用しながら説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 2次関数のグラフを用いて、最大値・最小値を求めようとしている。	○	○	○	8
	D 図形と計量 【知識及び技能】 三角比の意味や相互関係など、	・指導事項…三角比、三角形への応用 ・教材…プリント、問題集	【知識・技能】 三角比の意味や相互関係など、基本知識について理解している。				

2 学 期		基本知識について理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 正弦定理や余弦定理を用いて、 三角形の形状を把握し、説明する ことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 空間図形における三角比の問題 において、平面図形の三角比にお ける解法を活用しようとする。		【思考・判断・表現】 正弦定理や余弦定理を用いて、三角形の形 状を把握し、説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 空間図形における三角比の問題において、 平面図形の三角比における解法を活用しよう としている。	○	○	○	8
	E データの分析	【知識及び技能】 データの代表値や四分位数など の、基本用語について理解してい る。 【思考力・判断力・表現力等】 問題から読み取った情報から、 データの特徴について説明するこ とができる。 【学びに向かう力、人間性等】 データの特徴を捉えるために、 代表値や四分位数、分散・標準偏 差などを活用しようとする。	・指導事項…データの分析 ・教材…プリント、問題集	【知識・技能】 データの代表値や四分位数などの、基本用 語について理解している。 【思考・判断・表現】 問題から読み取った情報から、データの特 徴について説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 データの特徴を捉えるために、代表値や四 分位数、分散・標準偏差などを活用しよう としている。	○	○	○	3
	定期考査				○	○		1
	F 場合の数と確率	【知識及び技能】 順列や組み合わせの考え方や、 確率の基本性質について理解して いる。 【思考力・判断力・表現力等】 文章から正しく情報を読み取 り、問題解決にあたって必要な式 を適切に見いだすことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 独立な試行や反復試行など、こ れまでに学習したさまざまな確率 の考え方を、問題解決に活用しよ うとする。	・指導事項…場合の数、確率 ・教材…プリント、問題集	【知識・技能】 順列や組み合わせの考え方や、確率の基本 性質について理解している。 【思考・判断・表現】 文章から正しく情報を読み取り、問題解決 にあたって必要な式を適切に見いだすことが できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 独立な試行や反復試行など、これまでに学 習したさまざまな確率の考え方を、問題解決 に活用しようとしている。	○	○	○	8
	G 図形の性質	【知識及び技能】 三角形の角度の関係や辺の比の 性質について理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 チェバの定理、メネラウスの定 理をはじめとした種々の定理につ いて、論理的に考察することがで きる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な問題の解決過程におい て、角度の関係や辺の比の性質を 活用しようとする。	・指導事項…平面図形、空間図形 ・教材…プリント、問題集	【知識・技能】 三角形の角度の関係や辺の比の性質につい て理解している。 【思考・判断・表現】 チェバの定理、メネラウスの定理をはじめ とした種々の定理について、論理的に考察す ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な問題の解決過程において、角度の関 係や辺の比の性質を活用しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査				○	○		1
	H 数学と人間の活動	【知識及び技能】 数に関する種々の性質や計算方 法を理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 様々な人間の活動の中から数学 的要素を見だし、現実の事象 を、数学を用いて考察することが できる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な問題の解決過程におい て、数に関する種々の性質を活用 しようとする。	・指導事項…数学と人間の活動 ・教材…プリント、問題集	【知識・技能】 数に関する種々の性質や計算方法を理解し ている。 【思考・判断・表現】 様々な人間の活動の中から数学的要素を見 だし、現実の事象を、数学を用いて考察す ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な問題の解決過程において、数に関す る種々の性質を活用しようとしている。	○	○	○	6
	I 大学入試問題演習	【知識及び技能】 これまでに学習した事柄を理解 している。 【思考力・判断力・表現力等】 それぞれの問題において、途中 式や考え方などの過程を記述で説 明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 これまでに学習した事柄を、問 題解決に活用しようとする。	・指導事項…共通テストなどの入 試問題 ・教材…プリント	【知識・技能】 これまでに学習した事柄を理解している。 【思考・判断・表現】 それぞれの問題において、途中式や考え方 などの過程を記述で説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 これまでに学習した事柄を、問題解決に活 用しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査				○	○		1
	I 大学入試問題演習	【知識及び技能】 これまでに学習した事柄を理解 している。 【思考力・判断力・表現力等】 それぞれの問題において、途中	・指導事項…共通テストなどの入 試問題 ・教材…プリント	【知識・技能】 これまでに学習した事柄を理解している。 【思考・判断・表現】 それぞれの問題において、途中式や考え方 などの過程を記述で説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	

3 学 期	ていしていれの問題について、途中式や考え方などの過程を記述で説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 これまでに学習した事柄を、問題解決に活用しようとする。		【主体的に学ぶに取り組む態度】 これまでに学習した事柄を、問題解決に活用しようとしている。	○	○	○	8
							合計 70